



発行日：令和8年5月8日

発行：進路指導係

新緑のさわやかな季節となり、生徒たちも落ち着いた環境の中で学習や日々の活動に取り組んでいます。今年度も進路に関する情報を定期的にお届けし、ご家庭と連携しながら一人ひとりに合った進路選択を支援していきたいと考えています。今月は、「就労選択支援事業について」「高等部前期就業体験について」「施設紹介(松原園・ハローワーク名護)」についてお知らせします。

1. 就労選択支援事業について

本校では、就労を目指す生徒に対して「就労選択支援事業」を活用した進路支援を行っています。この事業は、福祉サービスの一つであり、就労移行支援や就労継続支援 A 型・B 型などの利用を検討する際に、本人の特性や希望、作業能力等を客観的に把握することを目的としています。具体的には、事業所での作業体験や聞き取りを通してアセスメント(評価)を行い、その結果をもとに適切な進路先を検討します。学校だけでは見えにくい実際の作業場面での様子や適性を確認できることが大きな特徴です。ミスマッチの少ない進路選択につながるだけでなく、卒業後の安定した就労生活への第一歩となります。また、この支援を通して、生徒自身が「自分に合う仕事は何か」「どのような支援が必要か」を理解することも大切な目的の一つです。今年度は6月の就業体験期間に合わせて高等部3年生の2名の生徒、夏休みに1名の生徒がワークサポートひびきにて実施予定で、関係機関と連携しながら進めていきます。



2. 高等部前期就業体験について

高等部では、6月8~20日の期間に前期就業体験を実施します。実施期間中は、企業や福祉事業所など校外の現場で実際の仕事や活動を体験し、働くことへの理解を深めることを目的としています。就業体験では、作業内容だけでなく、あいさつや報告・連絡・相談といった基本的な社会的マナー、周囲との関わり方なども重要な学びとなります。また、自分の得意なことや課題に気づく貴重な機会でもあります。B型事業所や生活介護事業所での体験や施設見学を行う場合には、保護者の方にも参加していただくことがあります。実際の活動の様子や職員の支援のあり方を見ていただくことで、卒業後の生活を具体的にイメージすることにつながります。体験後は、学校・保護者・関係機関で振り返りを行い、「できたこと」「今後の課題」を整理し、次の進路選択へとつなげていきます。



3. 施設紹介



(1) 生活介護事業所「松原園」

松原園は、生活介護と就労継続支援 B 型を併設している事業所で、落ち着いた環境の中で日中活動を行っています。生活介護では、日常生活の支援に加え、個々の状態に応じた活動が提供されており、安心して過ごせる場となっています。医療的ケアが必要な方への対応についても、看護師の配置体制が整いつつあり、受け入れについて前向きに検討されています。また、B 型事業では、洗濯作業や軽作業、農作業などが行われており、車椅子利用の方も参加しやすい環境が整っています。さらに、関連するグループホームの利用も検討可能であり、卒業後の生活の場としても選択肢の一つとなります。ただし、通勤や生活面での課題もあるため、本人の希望や生活スタイルを踏まえた検討が必要です。



(2) ハローワーク名護

ハローワークでは、一般就労を希望する方に対して、求人紹介や就職に向けた支援を行っています。学校へ対しても特別支援学校の生徒が一般就労を目指す際の流れやポイントについて助言をいただきました。一般就労を目指す場合は、まず本人の希望や実習経験を整理し、その上でハローワークに登録し、求人とのマッチングを行うことが基本となります。また、いきなり就職するのではなく、就労移行支援などで力を付けてから就職するという段階的な進路も重要であるとの助言がありました。特に、「自分の苦手なことを伝える力」「困ったときに相談する力」「基本的な作業スキル」は、卒業後に働き続けるために必要な力として挙げられています。学校としても、これらの力を日々の学習や実習の中で育てていきたいと考えています。



4. 終わりに

今後も、生徒一人ひとりの希望や実態に応じた進路支援を行ってまいります。ご不明な点やご相談がありましたら、いつでも下記からご連絡ください。進路指導の手引きもご活用ください。

【進路関係資料】

[①R8 進路指導の手引き\(桜野特別支援学校\)](#)



[②進路指導に関するお問い合わせ先](#)



[③R7 沖特進研報告書](#)

(沖縄県の特別支援学校進路実績)



[④障害福祉サービス事業所検索](#)

(WAM NET)

